大館市教育委員会会議録

日　時　令和８年８月２１日（金）
午後３時３０分
場　所　長木公民館
第１・第２研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1　開会の日時及び場所	日　時	令和８年８月２１日（金）　午後３時３０分	
	場　所	長木公民館　第１・第２研修室	
2　出席委員の氏名			
教育長職務代理者	山　田　和　人	委　員	工　藤　啓　子
委　員	小笠原　正　卓	委　員	真　田　かずみ
3　欠席委員の氏名			
4　委員以外の出席者職氏名	（なし）		
5　出席した職員の職氏名			
教育長	長　岐　公　二	学校教育課主幹	千　葉　彦　希
教育次長	阿　部　精　範	生涯学習課長補佐	佐　藤　正　平
教育監	野　呂　謙　一	中央公民館長	羽　沢　秀　則
教育総務課長	北　林　香　子	歴史文化課長補佐	鳥　潟　幸　男
学校教育課長	鈴　木　　明	教育総務課総務係	三　浦　伸　介
教育研究所長	中　嶋　舞衣子		
生涯学習課長	畠　山　慶　子		
歴史文化課長	関　　智　仁		
教育総務課長補佐	山　本　　司		

6　会議録署名委員　　教育長・小笠原委員

7　会　議　書　記　　教育総務課　総務係長　三浦　伸介

8　教育長報告

（１）	ＡＬＴの新規任用について
（２）	令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について
（３）	令和８年度大館市２０歳を祝う会について
（４）	夏休みわんぱくスクールの開催について

9　議　事

議案第12号	学校教育法施行細則の一部を改正する規則案
協議第15号	令和８年度大館市一般会計補正予算（第４号）の専決処分について
協議第16号	大館市招致外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
協議第17号	令和８年度大館市一般会計補正予算（第６号）案

10　その他

（口頭）　教育ツーリズム　２学期視察等予定について

（口頭）　学校統合・再編に関する保護者説明会について

次回　　９月２９日（火）　長木公民館　第１・第２研修室

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年８月２１日　　担当課（学校教育課）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
ＡＬＴの新規任用について	大館市へ新たに任用となるＡＬＴが決まりましたので報告します。 ・任　期　　令和８年８月３日～令和９年８月２日 ・担当校　　比内中学校、田代中学校

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年８月２１日　　担当課（教育研究所）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について	１　開催期日 （１）令和８年４月２３日（木） ・小学校　国語、算数（各４５分） ・中学校　国語、数学（各５０分） （２）令和８年４月２０日（月）～５月２９日（金） ・中学校　英語（５０分）、生徒質問調査（２０分） 文部科学省ＣＢＴシステム（ＭＥＸＣＢＴ）を活用して実施。タブレットを使って回答。 （３）令和８年４月２４日（金）～５月８日（金） ・小学校　児童質問紙（２０分） 児童質問調査オンライン実施システムを活用して実施。タブレットを使って回答。 ※（２）及び（３）は各校の希望に合わせ分散して実施。 ２　調査結果（教科）

	小学校６年		中学校３年		
	国語	算数	国語	数学	英語
市	63.0	56.0	57.0	51.0	491
県	65.0	58.0	57.0	49.0	489
国	61.1	56.6	54.3	48.3	499

※中学校英語は、各問題の難易度などから学力を推定し、５００点を基準とする「項目反応理論（ＩＲＴ）スコア」で示している。

・県、国を上回った教科　…　中学校数学
・県と同点の教科　…　中学校国語
・県を下回った教科　…　小学校国語、算数

３　調査結果（児童生徒質問調査）

・質問数　小学校７３、中学校８０

大館ふるさとキャリア教育、第１次学力向上に関する提言に関わる１６項目に注目すると、１５項目が国を上回り、県を上回る項目も多い。自己有用感、共感力、協働力、課題対応力・社会的使命感、社会貢献力・社会変革力について９０パーセント前後の児童生徒が肯定的な回答をしている。令和７年度に課題となった「自分の考えを相手に伝わるように工夫する」については、肯定的な回答が増加した。

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年８月２１日　　担当課（生涯学習課）

<table>
<tr><th>報　告　事　項</th><th>報　　告　　内　　容</th></tr>
<tr><td>令和８年度大館市２０歳を祝う会について</td><td>
８月１５日、ほくしか鹿鳴ホールにおいて、２０歳を祝う会が盛大に行われました。

１．対象者数　　５９０人（平成１７年度生まれの方）
出席者数　　４６３人（出席率７８．５％）

※過去５年間の対象者・出席者数の推移
<table>
<tr><th>年度</th><th>対象者</th><th>出席者（出席率）</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>Ｒ３</td><td>６３４人</td><td>７人（ 1.1%）</td><td>無観客</td></tr>
<tr><td>Ｒ４</td><td>６２７人</td><td>３４８人（55.5%）</td><td></td></tr>
<tr><td>Ｒ５#</td><td>５９６人</td><td>４０８人（68.5%）</td><td></td></tr>
<tr><td>Ｒ６#</td><td>５６３人</td><td>４３３人（76.9%）</td><td></td></tr>
<tr><td>Ｒ７#</td><td>５４２人</td><td>３８８人（71.8%）</td><td></td></tr>
</table>

２．出席者代表挨拶
「ふるさとを思い、応援し、いつか自分で出来る形で恩返しをする。それぞれの立場でふるさと大館への感謝を忘れずに歩み続けていく。」と頼もしい決意を述べられました。

３．企業・団体からの協賛
全市を挙げて祝うイベントとして、パンフレットへの応援メッセージ掲載など、市内４０の企業、法人や団体からご協賛をいただきました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>協賛企業数</th><th>協賛金合計</th></tr>
<tr><td>Ｒ７</td><td>４０社</td><td>５６８，０００円</td></tr>
<tr><td>Ｒ８</td><td>４０社</td><td>５８２，０００円</td></tr>
</table>

４．式典後のイベント（実行委員会主催）
地酒や曲げわっぱのカップ、秋田犬のぬいぐるみなど、大館ゆかりの景品が当たるクイズ大会が行われ、恩師や友人たちとの時間を共有し、会場が笑顔にあふれ、大いに盛り上がりました。
</td></tr>
</table>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年８月２１日　　担当課（中央公民館）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
夏休みわんぱくスクールの開催について	夏休みわんぱくスクールでは、毎年小中学生を対象に夏休みの時期に合わせ、体験を通して児童生徒の仲間づくりと協調性を養う機会を提供しています。日常ではなかなか学ぶことができない体験を共に楽しみながら、児童生徒間の交流を深めることができました。 〇学習内容 （１）７月２５日（土）午前８時３０分～正午 「米代川をカヌーで川下り」 根下戸地区米代川河川緑地付近から、田代の外川原地区米代川河川緑地までカヌーで川下りを体験 定員１０名、申込者８名、保護者２名 ※米代川の増水により中止
	（２）８月６日（木）午前１０時～正午【保護者同伴可】 「ニュースポーツ体験」 フライングディスクやボッチャに挑戦 場所：中央公民館 定員１０名、参加者７名、保護者４名
	（３）８月７日（金）午後１時～２時【保護者同伴可】 「お札の秘密を探ろう」 なぜお札が切り替わったかその秘密を探る。実際に１億円を持ってみる体験（１億円の重さは約１０kg…） 場所：中央公民館 定員１０名、参加者７名、保護者２名
	（４）８月８日（土）午前１０時～正午【保護者同伴可】 「消防士の仕事を体験しよう」※新規 消防車からの放水体験、消火器で火を消す体験、人を助け出す体験、ロープで移動する体験、防火服試着体験 場所：大館市消防本部 定員１０名、参加者１０名、保護者４名

議　事　の　経　過	
	開会　午後３時３０分
教育長	ただ今より教育委員会会議を開催いたします。 はじめに会議録署名委員を指名します。本日の教育委員会会議の会議録署名委員については、私と小笠原委員にお願いします。 続いて前回会議録の承認に移ります。７月２９日開催分の会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり。） それでは承認とさせていただきます。 では、４の教育長の報告事項について説明をお願いします。
各課長	（「（１）ＡＬＴの新規任用について」 「（２）令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について」 「（３）令和８年度大館市２０歳を祝う会について」 「（４）夏休みわんぱくスクールの開催について」 を、資料により報告。）
教育長	以上４件の報告でした。委員の皆さまからご質問、ご意見等ございますか。
委員	教育研究所にお伺いします。全国学力・学習状況調査の質問紙について、「主体的・対話的で深い学び」の「５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という設問が全国平均よりも低かったのは、子どもたちがそれを苦手に感じているからだと思うのですが、この傾向に対する考えと、この課題にどうやって取り組んでいこうとしているのかお聞かせください。
教育研究所長	委員ご指摘のとおり、この項目については国・県よりも低いのですが、昨年度はもっと低く、数値としてはかなり上昇した結果となっています。 これまでの学習を活かして分かりやすく伝える場面というのは実際には多々あるはずなのですが、恐らくそれを子どもたちに自覚させる働きかけが足りなかったのではないかと思われます。 決してやっていない、出来ていないということではなかったと思うのですが、その場面がこういった質問紙で問われたものと合致しているかという点について、子どもたちの中で自覚できなかったという可能性も考えられます。 ただ、十分ではないと思われているということは、やはり相手の反応を見ての結果かもしれませんし、他の要因もあるかもしれませんので、学校での詳しい分析結果を大事にして今後の回復指導に活かしていきたいと考えています。

委員	分かりました。
委員	関連してお伺いします。中学校の英語について、国が４９９ポイントに対して市が４９１ポイントと若干低いわけですが、スコアの統計方式が他の教科と異なっているため､果たしてこれが目をつぶってもいい程度の差なのか､その辺りが感覚的に見えないのです。 以前よりも改善されてきているというお話しでしたが、国語や数学と異なり標準偏差のようなものが見えないので、国と比較した場合にどの程度下回っているのか教えていただきたいのと、回復指導に関して様々な検討が行われていると思うのですが、どういった問題が解けなくて対策として何が必要なのか、現段階で分析されていれば教えていただきたいと思います。
教育研究所長	正直に申し上げますと、今のご質問に正確に答えられるだけの分析は現時点ではまだできていない状況です。特に、どの分野でどこが落ち込んでいるかという点に関しては、学校ごとにかなり差異があると思われるからです。 ですが、市全体で見ると数値としては全国との差は大きくありません。以前はかなり全国と開きがありましたので、かなり改善されてきています。 それぞれの課題に関しては、やはり学校ごとに分析していく必要があると思われます。
教育長	英語に関しては、過去令和元年から２年の辺りは、全国あるいは県の学習状況調査の結果を見たときに、大館市としてかなり落ちていた時期がありまして、英語版のはちくんダンスや英語での歌など、英語に特化したプロジェクトを作る取組が始まりました。 中学校の教員もかなり危機感を持って取り組んできた結果、例えば昨年度の県の学習状況調査では、中学校の英語は県を上回っている状況が生まれていますから、状況としては大分改善されてきていると思っています。 ただ、今回の全国学力・学習状況調査においては、秋田県自体が全国のスコアよりも下回ったので、県もやはり危機感を持って臨んでいるのではないかと思われます。
委員	今までは大体小学校は市が最もスコアが高くて、次いで県、国と低くなっていくグラフを想定できていましたが、現在は中学校がそういう感じになってきています。 ところが、残念ながら現在の小学校は県が高くて、次いで市、国という状況になっていまして、学力・学習状況調査に一喜一憂するわけではないのですが、これはこの学年特有の問題なのか、その辺りの分析というのはされているのでしょうか。
教育研究所長	委員ご指摘のとおり、気になるところであります。ただ、先ほど少しお話ししましたが、小学校６年生の結果を見たときに、昨年度の５年生時の県の

	学習状況調査の国語と算数は県の通過点数をやや下回る結果で、国語は県に比べて１．９ポイント、算数は０．６ポイント下回っていました。 その後も回復指導がされているのですが、全国学力・学習状況調査の期間が余り長くなく、年度をまたいでいたこともあって、回復指導に関してはもしかしたら不十分な点があったのかもしれません。 また、先ほど申し上げましたとおり学校によって課題が全く異なっていますので、学校ごとにしっかりと分析して、それぞれに合った回復指導を行っていく必要がある学年だと捉えております。
委員	いずれにせよ、これからもっと分析を進めていくことは重要ですね。現在のまま進級した場合、今度は中学校でも同様の偏差が出てくると思いますので、小中の連携をしっかりと取りながら、継続的なご努力をお願いします。
教育長	今年全国学力・学習状況調査を実施した小学校６年生と中学校３年生の、昨年と一昨年の県の学習状況調査の結果を段階的に追っていくと、教育研究所長が話しているように、今の小学校６年生は国語・算数共に昨年度もその前も県に比べるとやはり若干下回っていた部分がありますから、学年の特質のようなものもあるのかもしれません。 ただ、小学校６年生に関しては、彼らが４年生の時の国語は県の平均よりもかなり下回っていました。その時と比べると大分改善されてきていますから、結果としては下回ったかもしれませんが、やはりそういった学校の取組がきちんと成果として表れていることが見て取れます。 また、今の中学校３年生に関しては、実は昨年は数学、その前は国語も県の平均を下回っていました。この中学校１年生、２年生時の結果も見た上で今回の数字を見ると、かなり頑張ったことが分かる結果であり、やはり学校の取組も県や国の学習状況調査の結果を踏まえて授業改善の成果がきちんと表れているということですから、そういった視点で見ていきたいと思っています。
委員	丁寧なプロセスのご説明ありがとうございました。こういうことが必要なのだと感じました。やはり一番大事なことはプロセスだと思いますので、引き続きよろしくお願いします。
委員	生涯学習課の大館市２０歳を祝う会に出席させていただきありがとうございました。出席率が過去５年間で最も高い７８．５パーセントだったということですので、やはりコロナ禍を経て、直接顔を合わせて再開できる機会の大切さというのを皆さんの姿を見て感じていました。 特に印象的だったのが出席者代表の方の挨拶です。こういった式典での挨拶というと、一般的に社会的自立や自覚、責任という言葉が多く聞かれますが、様々な形でふるさとに関わり続けたいという言葉が自然に出てくるというのは、やはりふるさとキャリア教育の根がしっかり張られているのだと実感しながら聞いていました。

	それから、今年も昨年と同様に企業・団体さん４０社がご協力してくださいました。この間の大文字まつりもそうですが、物価高騰で資金の捻出が非常に厳しくなっている中においてもこうして支えてくださっていて、地域全体で盛り上げよう、若い人の門出を応援してあげようという地元企業の皆さんの力であり、気持ちであると感じました。
教育長	今年の２０歳を祝う会に参加した皆さんは、令和２年３月に全国一斉休校が行われた後、年度を越えて中学校３年生になったので、学校が１年間コロナ禍の対応に苦しんだ最初の１年間を経験した３年生の子どもたちです。 部活の大会に参加できないとか学校行事ができないとか、そういった前例のない、ある意味理不尽なことを強いられた学年なので、恐らく成長したという思いは相当強かったと思います。
委員	出席者代表の方は安藤昌益の「互性」という言葉を使いました。安藤昌益は皆さんご案内のとおり、江戸時代中期の大館出身の思想家であります。私もあまり詳しくはないのですが、少し調べてみたところ、互性とは簡単に言うと異なる者同士がお互いに対立しつつも認め合い共生する社会という思想のようです。 また、彼女は最後にどこにいてもふるさとに対する恩返しが出来るとも言いました。私たちは誰一人たりとも置き去りにしない教育ということを常々話していますが、２０歳の皆さんは、誰一人たりとも大館を置き去りにしないという覚悟であの式に臨んだのではないかと感じました。 よく教育長がかっこいい大人という言葉をおっしゃいますが、今回集まった皆さん、そして成人を迎えた皆さんは全てかっこいい大人だったのだなと思います。大館に対する熱い思いを感じることができて、しかも大館出身の思想家の言葉を引用してくれたので、郷土に対する愛が非常に強いということを再認識することができました。本当にいい式だったと思っています。
委員	私も出席させていただきましたが、先ほど教育長もおっしゃったように、本当に大変だった中で多感な時期を過ごしてきた子たちが、こうして立派になったのだと親世代として本当に頼もしく思いました。 そして先ほど山田委員がおっしゃったように、どこにいても大館に恩返しが出来るという言葉を聞いて、一昔前は帰って来なさいの一辺倒だった大人たちも、逆にそうかと思わされるような大変すばらしい挨拶で、出席した２０歳の皆さんの心意気が伝わってくるようでした。
教育長	ほかにございますか。 よろしいようですので、５の議事に進みたいと思います。 今回議案が１件、協議が３件ありますので、まず議案の方から説明及び質疑応答を行いまして、その後協議の方に移りたいと思います。 では、議案について説明をお願いします。

学校教育課長	（「議案第１２号　学校教育法施行細則の一部を改正する規則案」を、資料により説明）
教育長	議案第１２号について説明がございました。文言及び仕組みの整理という内容ですが、委員の皆さまいかがでしょうか。 よろしいようですので、議決とさせていただきます。 では、引き続き協議に移りたいと思いますので、説明をお願いします。
各課長	（「協議第１５号　令和８年度大館市一般会計補正予算（第４号）の専決処分について」 「協議第１６号　大館市招致外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案」 「協議第１７号　令和８年度大館市一般会計補正予算（第６号）案」 を、資料により説明。）
教育長	協議事項３件について説明がございました。 委員の皆さまからご質問、ご意見等ございますか。
委員	教育研究所費の委託料についてお伺いします。中学校社会科郷土資料ということは副読本になろうかと思いますが、現時点でどの程度の編集段階にあるのかと、それから大館の抱えている問題は多々あるわけですが、そういうものがどの程度網羅されているのか、この２点についてゲラ刷りの段階でも結構ですので、その辺を確認したいのですが。
教育研究所長	７月２日に行われた第１回編集委員会を経て、この夏休みの間にそれぞれの担当で見直しを図り、再取材等が必要なところは既に動き出しております。その結果を受けて９月４日に第２回編集委員会を開き、そこでこれまで検討した項目について再度協議をすることになっております。 ただ、５年前に前教育長の監修の下大幅な見直しを行ったことから、今回はあまり大きな変更は予定されていません。ゲラ刷り等に関してはもう少し先になると思いますが、ご覧いただくことは可能になります。 また、昨年度実施した小学校の副読本と同様に、冊子化はせず全てデジタル化して、子どもたちがそれぞれの端末から見られるようにしたいと考えています。
委員	分かりました。編集委員会でこれから活発な議論が行われると思いますが、可能になった段階で拝見したいと思いますので、よろしくお願いします。
教育長	ほかにございますか。

	よろしいようですので協議は終了いたします。 続いてその他に移りたいと思います。今回口頭報告が２件ございます。それでは説明をお願いします。
教育次長、教育監及び各課長	（「教育ツーリズム　２学期視察等予定について」 「学校統合・再編に関する保護者説明会について」 を、口頭で報告。）
教育長	以上、その他の報告２件について説明がありましたが、委員の皆さまよりご意見、ご質問、ご助言等ございましたら是非お願いします。
委員	現在地域住民の方々にお話を聞いているというのは分かりましたが、それを踏まえて実際に統合するスタートラインはいつ頃になるのでしょうか。 また、先ほど教育総務課長からお話がありましたが、必要な改修の時期はいつ頃に決定し、実施するのはいつ頃なのか、具体的なスケジュールについて教えていただきたいのですが。
教育総務課長	改修につきましては、今後各校をどの程度改修するか協議し、それから設計を行うことになりますので、実際の着手時期についてはまだはっきり申し上げることはできません。 また、大規模改修となると国の交付金などを申請する必要があるため、まず１年目に申請し、交付が決定してから２年目に設計を行った上で同年度に工事に係る交付金の申請を行い、それが決定してから３年目に初めて着工できることになります。
委員	早くても令和１１年以降ということになりますか。
教育総務課長	そうなります。ただ、釈迦内小学校や山瀬小学校は小規模で済むと想定しています。
委員	例えば、北陽中学校区で言うと矢立小学校や花岡小学校の保護者の皆さんとは、学校歯科医やＰＴＡなど様々な形で関わっていますが、一刻も早く統合してほしいという話もかなり聞こえてきます。具体的なスケジュールや道筋が出来ていないと、保護者の方々に不安を与えてしまうのではないかと心配になりお聞きしました。
教育次長	確かに説明会でもそういう意見は多数ありまして、時期が決まり次第ホームページなど様々な方法で保護者の方々にお知らせしますということはお伝えしました。
教育長	現在行っていることの目的は、保護者や地域の人たちから統合に際して賛成や反対など、そういう声があるかどうかを確認するということです。保護

	者の立場からすれば、子どもの通学先が変わることにより保護者自身の生活も変えなくてはいけない事態になるため、それに伴って様々な意見や要望が出て来るでしょうから、それに対してどう対応するかということを考えた場合に、先ほど説明があったように学校の改修を行うとかスクールバスの運行計画を組むなど、道筋を作らないといけないと思います。 　その見通しを持った上で、地域の説明会が終わった段階で異論がなければゴーサインを出し、タイムスケジュールをきちんと示した中で動き出していくことになります。 　まだ地域への説明が終わっていない段階でプランを全て示してしまうと、最初からそれありきで進めていると受け止められて、紛糾する可能性がありますので、やはりきちんと筋を通す部分は通すことを意識して進めています。 　ほかにございませんか。 　まだ２回しか開催していませんが、せっかくの機会なので地域住民説明会の様子についても説明をお願いできますか。
教育次長	昨日、一昨日と、早口小学校と山瀬小学校の地域住民説明会を開催しました。早口小学校は参加者が４人で質問も１件のみであり、統合については既に受け入れられている様子でした。 　山瀬小学校については９人の参加がありまして、こちらは結構質問が出たのですが、統合に反対する意見はなく、むしろ統合を決めるのが遅いとか、もっと早く進めてほしいといった意見に終始していました。 　また、統合とは関係なく学校の整備等についても質問がありましたが、危険な箇所は統合を待たずに可能な限り早く改修していきたいということを申し上げました。
教育長	地域の特色や思いもあると思いますが、時代の流れとして、保護者はある程度集約という方向に向いていることが伺えます。 　さて、この機会に委員の皆さまからほかに何かございますか。
委員	感想になりますが、田代岳の写真展を博物館で見る機会がなかったので、昨日田代庁舎へ行ってまいりました。 　山岳信仰ですとか、大局的に見ないと田代岳が大館市と岩木山を見たときにどういう位置関係にあったのかなど、なかなか知ることが出来ませんので非常にいい勉強になりました。２回ほどしか登ったことがないのですが、本当に参考になる記述や写真を拝見して、改めて田代岳の良さといいますか、大館のすばらしさを認識することができましたので、もう少し機会を広げて、常設で見られる環境があってもいいのではないかと思います。
教育長	ほかにございますか。

教育総務課長 教育長	よろしいようですので、次回の開催日程についてお願いします。 （「来月の開催日程」について） それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻　　午後４時３５分